

市と市民協力し「聞き書き集」

女性視点で西東京変遷

西東京市に生きた女性たちの視点を通し、街の変遷をたどろうと、同市と市民が協力して「西東京市の女性の聞き書き集—いのちと知恵をつなぎ、暮らしから社会を変えた女たち—」を作製した。旧田無市議会初の女性議

長白石智子さんや、ひばりが丘団地第一期からの住人・椿鈴江さんら、さまざま分野で地域活動が続けてきた七十〜九十代の女性二十二人が登場する。

(高橋知子)

聞き書き集作製を提案したのは、市内で男女平等社会推進のための活動をするNPO法人生活企画ジェフリー。市のNPO等企画提案事業に採用され、昨年からの聞き取り作業が続けてきた。ジェフリー理事長の渡辺美恵さん(左)は提案の動機を「お話を聞きたい方々が高齢化しており、女性史の編さんは喫緊の課題と感じていた」と話す。

女性史編さんについて講座を開き、その修了者十二人で「西東京市の女性史を編さんする会」を発足させた。多数の候補者から今回



西東京の「女性史」といえる聞き書き集をまとめた生活企画ジェフリー理事長の渡辺美恵さん＝西東京市で

は二十二人に絞り込み、会員が三人一組で話を聞いて対象者の生い立ち、地域

活動を始めたきっかけ、現在の暮らしなど、人柄が伝わるよう語り口そのままに書いた。例えば十四歳から

あすから旧田無市議長ら22人登場 市内で配布

て出勤したという椿さんらの話から、当時の様子が生き生きと伝わってきた。記憶が曖昧なところは、資料で裏付けを取って本人に再確認し、入念に推敲を重ねた。渡辺さんは「地域で名前や顔は知っている方でも、生い立ちなどは案外知らないもの。どの方の話も大変おもしろく、地域への理解も深まった。一人一人の貴重な人生に触れて、その時代時代の女性たちのパワー、元気を感じた」と手応えを語った。聞き書き集には「女性とまちの動き」と題した年表をつけ、女性たちの話と地域の歩みがリンクするよう工夫した。五百部作製。十五日から市役所田無庁舎三階企画政策課と保谷庁舎三階協働コミュニティ課、男女平等推進センターパブリテ(住吉町六)で配布する。問い合わせはジェフリー 電042(467)2089へ。